

第3回家読サミット in 板柳 開催要項 (案)

～ 家読で深い絆のまちづくり ～

1. 趣 旨

近年、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化し、子どもたちの家庭での過ごし方も多様化する中で、親子・家族の会話やふれ合いの機会の減少などにより、様々な心の問題を抱える子どもが増加する傾向にある。

朝の読書推進協議会は、こうした現状を打開するために、家庭（家族）での読書が有効な手段であると捉え、「うちどく（家読）」を提唱し、運動を展開し始めた。

もとより子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨くとともに表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものである。

板柳町は、自治体としていち早く家読運動に取り組んだ茨城県大子町、佐賀県伊万里市に倣い、平成20年度に「読書のまち」を宣言し、町民が読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、家読の実践を通して家庭の役割を回復させ、家族のコミュニケーションがより図られることを目指してきた。

こうした家読に取り組む自治体同士が相互に情報を共有するとともに、家読の更なる普及に向け、その取り組みを全国に発信するための「家読サミット」を、平成21年に佐賀県伊万里市、平成22年には茨城県大子町で開催した。そして、平成23年の今年、板柳町で第3回目の開催となる。

平成23年3月11日に東日本を襲った未曾有の大地震で甚大な被害を受けた自治体を始めとして日本国中が、今、様々な困難を抱えながらも復旧、復興に向けて歩み続けている。そうした中、第3回家読サミットは、家読運動がまちづくりを進める上で果たしている役割を確認し合い、それをより広範な地域へ広げることを目的に開催するものである。

2. 期 日

平成23年11月5日（土）午前8時50分～12時45分（入場無料）

3. 会 場

板柳町多目的ホール「あふる」

場 所：〒038-3672

青森県北津軽郡板柳町大字灰沼字岩井61

TEL0172-72-1800 FAX0172-72-1801

4. 主 催

青森県板柳町、板柳町教育委員会

5. 共 催

佐賀県伊万里市、茨城県大子町

6. 後援

青森県、青森県教育委員会、青森県読書推進運動協議会、青森県読書団体連絡協議会、西北五つがる読書推進連絡会、家読推進プロジェクト、東奥日報社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、NHK青森放送局、板柳町読書のまち推進連絡会議

7. 参集者

全国家読推進自治体関係者及び近隣市町村、町内学校関係者及びPTA関係者等

8. 開催内容(概要)

(敬称省略)

8:50 オープニングセレモニー

- ・合唱「こころつないで」(家読テーマソング)
板柳レディースコーラス

9:00 開会

- ・主催者挨拶 板柳町長 舘岡 一郎
- ・来賓祝辞 青森県教育委員会教育長 橋本 都

9:10 基調講演

- ・演題 「大人の再生・子どもの成長」
～読み聞かせは心育ての特効薬～
- ・講師 ノンフィクション作家 柳田 邦男

10:40 家読座談会

○テーマ「我が家での家読実践」

- ・出席者 板柳町内実践家庭(親子4組)
- ・司会 板柳町読書のまち推進連絡会議代表 田中 忠博

11:20 シンポジウム

○テーマ「家読で深い絆のまちづくり」
～「読書のまち」としてのこれから～

- ・シンポジスト 佐賀県伊万里市長 塚部 芳和
茨城県大子町長 益子 英明
青森県板柳町長 舘岡 一郎
- ・コーディネーター 家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮

12:25 家読サミット共同宣言 伊万里市長/大子町長/板柳町長

12:35 次期開催地挨拶 埼玉県三郷市長 木津 雅晟(未定)

12:40 閉会挨拶 板柳町教育委員会教育長 中谷 豊

【ホワイエ】参加自治体の家読に関するパンフレットや観光パンフレットを展示

※本要項は、7月27日現在のものです。今後若干の変更も考えられますので、ご了承ください。

第1回子ども司書推進全国研究大会 開催要項（案）

1. 趣 旨

福島県矢祭町「もったいない図書館」で始まった「子ども司書」の取り組みが、今では全国各地に広まり、注目されている。

小学校では今年度から、中学校においては来年度から新学習指導要領が全面実施される。学習指導要領の改定で示された改善の視点の一つに「言語活動の充実」があり、それぞれの学校には、その充実に向けた方策が求められているが、児童生徒の言語活動を支える言語環境を整えることも大事である。その一つとして、児童生徒が学校や家庭における読書活動を活発に行う推進役としての「子ども司書」へ期待が高まっている。その一方で、学習指導要領の改定で授業時数が増えたことによる児童生徒への負担が懸念されているところでもある。

このような状況の下で、それぞれの地で取り組んでいる「子ども司書」についての活動を紹介し合うとともに、よりよい「子ども司書」のあり方を研究協議するために、第1回子ども司書推進全国研究大会を開催するものである。

2. 開催日

平成23年11月4日（金）午後4時～6時（入場無料）

3. 会 場

板柳町多目的ホール「あぶる」

場 所：〒038-3672

青森県北津軽郡板柳町大字灰沼字岩井61

TEL0172-72-1800 FAX0172-72-1801

4. 主 催

青森県板柳町、板柳町教育委員会

5. 共 催

子ども司書推進全国協議会

6. 参集者

全国子ども司書養成実施自治体関係者及び近隣市町村、町内学校関係者及びPTA関係者等

7. 開催内容（概要）

（敬称省略）

16:00 開会 司会 金澤 昭（子ども司書全国推進協議会事務局長）

16:02 歓迎挨拶 板柳町長 館岡 一郎

16:05 基調講話

○テーマ「子どもは信じられないほどすばらしい存在」

子ども司書推進全国協議会 理事長 高信由美子

16:35 シンポジウム

○テーマ 未来につなげる読書「子ども司書制度の意味するもの」

・コーディネーター

高信 由美子

子ども司書推進全国協議会副理事長

アンドリュー・デュアー

(元桜の聖母短期大学教授(福島県))

・シンポジスト 佐賀県伊万里市／福島県矢祭町／青森県野辺地町
／青森県板柳町

17:15 ケーススタディ

○テーマ 「世界の子どもの読書事情」

アンドリュー・デュアー／家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮

17:40 子ども司書推進全国ネットワークの提案

金 澤 昭 ほか

18:00 閉会

板柳町教育長 中 谷 豊

【ホワイエ】

・参加自治体の家読に関するパンフレットや観光パンフレットを展示

※本要項は、7月27日現在のものです。今後若干の変更も考えられますので、
ご了承下さい。